

各都道府県教育委員会指導事務主管課  
各指定都市教育委員会指導事務主管課  
各都道府県私立学校事務主管課  
附属高等学校（中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む）、  
附属中学校（義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中等部を含む）  
を置く各国公立大学法人附属学校事務担当課  
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体の学校設置会社事務主管課

御中

厚生労働省医薬局総務課医薬品副作用被害対策室  
文部科学省初等中等教育局教育課程課

## 令和 8 年度 薬害教育教材「薬害を学ぼう」の配布・周知について

薬害教育のための教材「薬害を学ぼう」（パンフレット）及び指導の参考資料（以下「本教材」という。）を、本年は全国の高等学校に配布します。中学校には全校への送付を取りやめ、本事務連絡における周知のみとします。周知事項の詳細については下記のとおりですので、地方公共団体等におかれては、次頁に掲げる表のとおり、周知をお願いいたします。

その際、学校における働き方改革の観点から、周知の範囲及び方法については、全ての学校への一律周知以外にも、例えば、他案件とまとめた周知の実施や教育委員会主催の教員研修の場での配布等、貴課において必要に応じて御判断いただきますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 高等学校への本教材の発送及び周知について

本教材は、6月15日の週から順次、高等学校には高校1年生の人数分程度、各学校等あてに直接発送いたします。主に高等学校の公民科（公共、政治・経済）の授業等において御活用いただくことを想定しており、特に当該教科の担当教員の皆様への周知について、御協力をお願いいたします。本教材の詳細は別添をご確認ください。

#### 2. 中学校への本教材の周知について

一人一台端末の導入状況を踏まえ、今年度からこれまでの全校への送付を取りやめ、本事務連絡における周知のみとしますので、デジタル版教材の活用をお願いします（注）。

主に中学校の社会科（公民的分野）の授業等において御活用いただくことを想定しており、特に当該教科の担当教員の皆様への周知について、御協力をお願いいたします。デジタル版教材及び指導の参考資料のダウンロード・閲覧方法の詳細は別添をご確認ください。

（注） 紙の教材を授業において使用されたい場合、必要部数を発送することが可能です。以下のお問い合わせ先まで発送先及び必要部数をご連絡ください。概ね2～3週間程度での発送となります（教材の在庫状況により前後する可能性がございますので、お問い合わせください）。

### 3. アンケートの御協力について

各高等学校の先生方に、本教材の使用方法・配布等に関する任意のアンケートに御協力いただきたいと考えておりますので、アンケート回答についても御協力の周知をお願いいたします。本教材を活用されなかった方の御意見も含め、アンケート結果は本教材の改訂等にあって参考にさせていただきます。

今年度は、特に視聴覚教材の見直しの検討のための設問と令和9年度の本教材の配布希望を確認するための設問を盛り込んでおります。幅広い地域・校種・教科の先生方の御意見をお寄せいただければ幸いです。

アンケートURL：<https://forms.office.com/r/li42k6iWGG>

(以下の二次元コードからも回答可能です。)

回 答 締 切：【令和8年10月16日（金）17時】



(周知先について)

周知元	周知先
都道府県教育委員会指導事務主管課	所管の高等学校・中学校及び各学校を設置する域内の市（指定都市を除く）町村教育委員会指導事務主管課
指定都市教育委員会指導事務主管課	所管の高等学校・中学校
都道府県私立学校事務主管課	所轄の高等学校・中学校及び学校法人等
附属高等学校・附属中学校を置く国公立大学法人附属学校事務担当課	附属の高等学校・中学校
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた地方公共団体の学校設置会社事務主管課	所轄の高等学校・中学校及び学校法人等

※高等学校は、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む

※中学校は、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中等部を含む

教材の使用法等に御不明点等がありましたら、メール又は電話にて御連絡ください。

【問い合わせ先】厚生労働省医薬局総務課医薬品副作用被害対策室 担当 古宮、藪田、笠井、浜谷、安住  
電話 03-5253-1111（内線 2718、2719）（夜間 03-3595-2400）  
メール [fukutai01@mhlw.go.jp](mailto:fukutai01@mhlw.go.jp)



特に

高校等の公民科（公共/政治・経済）  
中学校の社会科（公民的分野）

の担当教員の皆さまへ



# 「薬害教育教材」を活用してみませんか？

実践例も増えています

公民科学習指導要領に対応！



多様な教材と指導の参考資料

同封しています



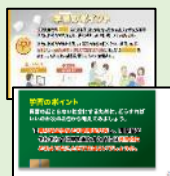
「薬害を学ぼう」

…生徒配布用の教材です



「指導の手引き」

…指導のポイント等を記載した  
教員向け資料です



「視聴覚教材」

…動画教材（全体編・パート別）

を無料で公開しています

<厚生労働省YouTubeでも公開>



「実践事例集」

…実際に授業に取り組んだ  
実践例をまとめた教員向け  
資料です

厚生労働省ホームページで各教材の電子媒体・動画のリンク  
・関連サイトなどを見ることができます



薬害を学ぼう

検索



デジタル版教材



ダウンロードは  
こちら



一人一台端末での使用に配慮した

横長（16:9）デザインです

教材内の二次元コード等をクリック・タップし  
すぐに外部HPや動画にもアクセスできます



授業サポートも可能

講師派遣もできます

厚生労働省職員が、授業実施に際して  
各種サポートをさせていただきます  
お気軽にお問い合わせください

- 教材内容の御不明点等の説明
- 授業実施や授業計画策定に当たる  
アドバイス（現地打合せやオンライン）
- 薬害被害者の方の講師派遣 など

詳しくは裏面をご覧ください

高等学校教員（公民科）向けアンケート（5分程度）にご協力ください



皆様の御意見は教材等検討に活用しています

※令和9年度分の紙媒体教材の配布が

不要な場合は回答をお願いします



【回答期限】

令和8年10月16日（金）17時

<https://forms.office.com/r/1i42k6iWGG>



ひと、くらし、みらいのために  
**厚生労働省**  
Ministry of Health, Labour and Welfare

(R8.6)



## 「薬害教育」と学習指導要領との関係

「薬害教育」は、医薬品等による薬害を知り、その発生の過程や社会的な動き等を学ぶことを通じ、**今後、同様の被害が起こらない社会の仕組みの在り方等を考えること**を目的としています。

例えば、「**高等学校学習指導要領 公民科（公共/政治・経済）**」及び**同解説**の中には、以下のように薬害教育に関する事項が含まれています。

### 【例】高等学校等の公民科（公共）の場合

#### <高等学校学習指導要領（抜粋）>

2 内容 B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち

ア（ウ）（略）より活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解すること。

#### <高等学校学習指導要領の解説（抜粋）>

（略）より活発な経済活動と個人の尊重の両立については、例えば、製品事故や薬害問題などを扱い、政府による適切な政策が必要であるとともに、企業にはそうした問題を生じさせないなど社会的に責任のある行動が求められていることを理解できるようにすることが大切である。また、消費者も、社会、経済、環境などに消費が与える影響を考えて商品を選択するなど、公正で持続可能な発展に貢献するような消費行動をとることが求められていることを理解できるようにすることも大切である。

※ 「薬物乱用防止教育」と「薬害教育」は、学習内容や背景等が異なるため、混同しないようご配慮ください。



## モデル授業に挑戦してみませんか？

- 先生方の授業実施の参考となる「実践事例集」を充実するため、モデル授業に挑戦していただける中学校・高校を募集しています
- 厚生労働省職員と打合せしながら、授業計画の策定に向けた支援や講師派遣の調整等の各種サポートをいたします（授業当日の職員の見学や、アンケート回答に御協力ください）
- 教材の追加配送も、ご連絡いただければ対応いたします



### 【ご相談・ご応募先】厚生労働省医薬局総務課医薬品副作用被害対策室

担当：古宮、藪田、笠井、浜谷、安住

E-mail : fukutai01@mhlw.go.jp 電話番号：03-3595-2400 FAX：03-3501-2052



## 薬害被害者の方の講師派遣が可能です

- 一般社団法人薬害研究資料館において、薬害被害者の方の講師派遣を行っており、出前授業や講話をお願いすることが可能です（以下の宛先にメールでご依頼ください）
- なお、モデル授業にご応募いただき、授業の中で出前授業や講話を実施する場合は、厚生労働省にて薬害研究資料館と調整いたしますので、改めて資料館に依頼する必要はございません

### 【講師派遣専用アドレス】一般社団法人薬害研究資料館



E-mail : lecture@yakugai.org

モデル授業や講師派遣を通じて、先生方からは、

「公共で扱う意義や探求的学習の質を上げることができた」

「被害者の偏見・差別基本的人権の尊重など、様々な観点で生徒の理解が深まった」  
との声をいただいています

ご応募・ご依頼を心よりお待ちしております